

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 7 部門第 3 区分
 【発行日】平成 17 年 9 月 2 日 (2005.9.2)

【公開番号】特開 2003-273968 (P2003-273968A)

【公開日】平成 15 年 9 月 26 日 (2003.9.26)

【出願番号】特願 2002-70623 (P2002-70623)

【国際特許分類第 7 版】

H 0 4 M 1/00

H 0 4 M 1/02

H 0 4 Q 7/38

【F I】

H 0 4 M 1/00 K

H 0 4 M 1/02 A

H 0 4 B 7/26 1 0 9 T

【手続補正書】

【提出日】平成 17 年 3 月 8 日 (2005.3.8)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

表示部を備えた第 1 の筐体と操作部を備えた第 2 の筐体とを、接続機構を介して開閉可能に接続した無線通信装置において、

前記第 1 の筐体と前記第 2 の筐体とが開いた状態か閉じた状態かを検出する開閉検出手段と、

識別情報を記憶する識別情報記憶手段と、

基地局からの信号を受信する受信手段と、

前記開閉検出手段によって閉じた状態を検出し、かつ前記受信手段によって受信した信号に基づく情報と前記識別情報記憶手段に記憶された識別情報とが一致した場合に、該受信した信号に基づく報知を禁止する報知制御手段と、を具備することを特徴とする無線通信装置。

【請求項 2】

第 1 の筐体と、操作部を備えた第 2 の筐体とを、接続機構を介して開閉可能に接続した無線通信装置において、

前記第 1 の筐体と前記第 2 の筐体とが閉じた状態で外部に露出する表示手段と、

前記第 1 の筐体と前記第 2 の筐体とが開いた状態か閉じた状態かを検出する開閉検出手段と、

発信者を識別する識別情報を記憶する識別情報記憶手段と、前記開閉検出手段によって閉じた状態を検出し、かつ着信信号から抽出された識別情報と前記識別情報記憶手段に記憶されている識別情報とが一致した場合、前記表示手段へ着信があった旨の表示を禁止する表示制御手段と、を具備することを特徴とする無線通信装置。

【請求項 3】

表示部を備えた第 1 の筐体と操作部を備えた第 2 の筐体とを、接続機構を介して開閉可能に接続した無線通信装置において、

前記第 1 の筐体と前記第 2 の筐体とが開いた状態か閉じた状態かを検出する開閉検出手段と、

識別情報を記憶する識別情報記憶手段と、
基地局からの信号を受信する受信手段と、

前記開閉検出手段によって開いた状態を検出し、かつ前記受信手段によって受信した信号に基づく情報と前記識別情報記憶手段に記憶された識別情報とが一致した場合に、該受信した信号に基づく報知を行う第１の報知制御手段と、

前記開閉検出手段によって閉じた状態を検出し、かつ前記受信手段によって受信した信号に基づく情報と前記識別情報記憶手段に記憶された識別情報とが一致した場合に、該受信した信号に基づく報知を禁止する第２の報知制御手段と、を具備することを特徴とする無線通信装置。

【請求項４】

第１の筐体と、操作部を備えた第２の筐体とを、接続機構を介して開閉可能に接続した無線通信装置において、

前記第１の筐体と前記第２の筐体とが閉じた状態で外部に露出する表示手段と、

前記第１の筐体と前記第２の筐体とが開いた状態か閉じた状態かを検出する開閉検出手段と、

発信者を識別する識別情報を記憶する識別情報記憶手段と、前記開閉検出手段によって開いた状態を検出し、かつ着信信号から抽出された識別情報と前記識別情報記憶手段に記憶されている識別情報とが一致した場合、前記表示手段へ着信があった旨の表示を行う第１の表示制御手段と、

前記開閉検出手段によって閉じた状態を検出し、かつ前記抽出された識別情報と前記識別情報記憶手段に記憶されている識別情報とが一致した場合、前記表示手段へ着信があった旨の表示を禁止する第２の表示制御手段と、を具備することを特徴とする無線通信装置。

【手続補正２】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００１２

【補正方法】変更

【補正の内容】

【００１２】

そこで本発明は、これら上述した従来における問題に鑑みてなされたものであって、シークレット機能をすばやく実行させることが可能な無線通信装置を提供することを目的とする。

【手続補正３】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００１３

【補正方法】変更

【補正の内容】

【００１３】

本発明の無線通信装置は、表示部を備えた第１の筐体と操作部を備えた第２の筐体とを、接続機構を介して開閉可能に接続した無線通信装置において、前記第１の筐体と前記第２の筐体とが開いた状態か閉じた状態かを検出する開閉検出手段と、識別情報を記憶する識別情報記憶手段と、基地局からの信号を受信する受信手段と、前記開閉検出手段によって閉じた状態を検出し、かつ前記受信手段によって受信した信号に基づく情報と前記識別情報記憶手段に記憶された識別情報とが一致した場合に、該受信した信号に基づく報知を禁止する報知制御手段と、を備えている。

また、本発明の無線通信装置は、第１の筐体と、操作部を備えた第２の筐体とを、接続機構を介して開閉可能に接続した無線通信装置において、前記第１の筐体と前記第２の筐体とが閉じた状態で外部に露出する表示手段と、前記第１の筐体と前記第２の筐体とが開いた状態か閉じた状態かを検出する開閉検出手段と、発信者を識別する識別情報を記憶する識別情報記憶手段と、前記開閉検出手段によって閉じた状態を検出し、かつ着信信号か

ら抽出された識別情報と前記識別情報記憶手段に記憶されている識別情報とが一致した場合、前記表示手段へ着信があった旨の表示を禁止する表示制御手段と、を備えている。

さらに、本発明の無線通信装置は、表示部を備えた第１の筐体と操作部を備えた第２の筐体とを、接続機構を介して開閉可能に接続した無線通信装置において、前記第１の筐体と前記第２の筐体とが開いた状態か閉じた状態かを検出する開閉検出手段と、識別情報を記憶する識別情報記憶手段と、基地局からの信号を受信する受信手段と、前記開閉検出手段によって開いた状態を検出し、かつ前記受信手段によって受信した信号に基づく情報と前記識別情報記憶手段に記憶された識別情報とが一致した場合に、該受信した信号に基づく報知を行う第１の報知制御手段と、前記開閉検出手段によって閉じた状態を検出し、かつ前記受信手段によって受信した信号に基づく情報と前記識別情報記憶手段に記憶された識別情報とが一致した場合に、該受信した信号に基づく報知を禁止する第２の報知制御手段と、を備えている。

またさらに、本発明の無線通信装置は、第１の筐体と、操作部を備えた第２の筐体とを、接続機構を介して開閉可能に接続した無線通信装置において、前記第１の筐体と前記第２の筐体とが開いた状態で外部に露出する表示手段と、前記第１の筐体と前記第２の筐体とが開いた状態か閉じた状態かを検出する開閉検出手段と、発信者を識別する識別情報を記憶する識別情報記憶手段と、前記開閉検出手段によって開いた状態を検出し、かつ着信信号から抽出された識別情報と前記識別情報記憶手段に記憶されている識別情報とが一致した場合、前記表示手段へ着信があった旨の表示を行う第１の表示制御手段と、前記開閉検出手段によって閉じた状態を検出し、かつ前記抽出された識別情報と前記識別情報記憶手段に記憶されている識別情報とが一致した場合、前記表示手段へ着信があった旨の表示を禁止する第２の表示制御手段と、を備えている。

【手続補正４】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００１８

【補正方法】変更

【補正の内容】

【００１８】

【発明の実施の形態】

以下、図面を参照して、本発明の実施形態に係る無線通信装置を説明する。

図１は、本実施形態に係る無線通信装置の機能ブロック図である。

本発明の実施形態に係る無線通信装置は、表示装置側筐体１０と操作部側筐体２０とを備えている。

表示装置側筐体１０は、アンテナ１、無線部２、ベースバンド部３、第１の表示装置４、第２の表示装置５、スピーカ６、および、リードスイッチ１２を備えている。

操作部側筐体２０は、ベースバンド部３、オーディオ部７、電池８、制御部９、操作部１４、マイクロフォン１１、磁石１３、および、記憶部１００を備えている。

【手続補正５】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００４４

【補正方法】変更

【補正の内容】

【００４４】

図２は、図１の無線通信装置の表示等に関する動作を示す流れ図である。図２は、図１の無線通信装置における着信時の、着信音、電話番号および名前の表示、電子メールの表示、留守番電話録音についての制御フローの例である。

この流れ図で説明される動作は、着信時は着信を示す音を発生させ、相手先の電話番号、名前、および、電子メールの場合はその内容を表示装置に表示し、留守番電話録音設定がある場合はハンドフリー状態に設定し留守番電話録音のメッセージを流し相手先のメッセージを記憶することである。これら各動作が以下に示すステップのようにオンオフの設

定が可能である場合について折り畳み式の無線通信装置の一例を示す。

【手続補正 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0060

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0060】

【発明の効果】

本発明の無線通信装置によれば、無線通信装置のシークレット機能をすばやく実行させることができる。

【手続補正 7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0061

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0062

【補正方法】削除

【補正の内容】